

身障者手帳 国が認定見直し方針

先天性心臓病 実情知って

ペースメーカーを装着したり、血液の逆流を防止する弁を人工に置き換えた先天性心臓病患者の身体障害者手帳について、厚生労働省が認定基準見直しの方針を打ち出している。等級が下がる
と医療費負担が増す可能性があり、先天性心臓病で幼少期から手術を繰り返す県内の患者は不安を募らせる。全国心臓病の子どもを守る会県支部は「実態に合った認定を」と訴える。

県内患者負担増に不安



体内に入れたペースメーカーが正常に作動しているか検査を受けるため、専門外来を訪れた患者（右）。健康への不安を口にした
＝3月27日、静岡市葵区の県立こども病院

機器装着も「体調不安定」

「次のペースメーカー入れ替えはいつですか。難しい手術と言われていて不安です」
生後すぐに、右心室から肺動脈への通路が閉じている肺動脈閉鎖と診断された県東部の女性(25)。3月下旬、県立こども病院(静岡市葵区)のペースメーカー外来を訪れた。病状が重く、入院を繰り返す。「就職しても休みがちで思うように働けない。医療費負担が増えたらと思うと不安」

現在、ペースメーカーや人工弁を入れた患者は一律、手帳の「1級」に認定される。「1級を条件に、各市町が医療費や薬代を補助する(重度心身障害者(児)医療費助成制度)の対象になる」ところ

身障者手帳 医療費、就労を援助

身体障害者手帳は、身体障害者が必要な援助を受けられるよう、身体障害者福祉法に基づき交付される。医療費や補装具の補助、交通運賃の割引、就労支援などの援助がある。心臓機能障害者の場合、障害の程度によって1、3、4級に認定される。自己の身辺の日常生活活動が極度に制限される場合に1級に該当する。

全国心臓病の子どもを守る会県支部の根本敬子代表は「先天性心臓病の子は就職も結婚も難しく、親の悩みは切実。1級が外されたらどうしたらいいのかという声が集まっている」と打ち明ける。

が、厚労省は、医療技が改善しているとする術の進歩により、機器 国会の指摘を踏まえ、装着した患者の体調「装着後の状態」に基づき認定の見直しを断る。小児の患者は大人に比べ少ないが、支援が必要」と訴える。

工場火災 1人死亡 堺、社員3人も搬送

9日午前10時55分、龍治さん(37)堺区出る、堺市堺区匠町20の島海岸通4丁が全身業していた。

1にある銅製品メーカー「日本伸銅」の本社工場で「溶解炉が爆発した」と110番があった。工場内で火災が発生し、同社社員西谷は症状が軽い。4人は搬送され、男性(54)が重傷、61歳と41歳の男性は症状が軽い。4人は搬送された。

堺市によると、症状の軽い2人は、「どん」という音が聞こえたので振り返った。火柱と黒煙が炉から上がっていた。約10分、炉から夜火じしを金属が叩く